

# キセラ川西 エコまち建築賞 選考結果及び講評



## 1. 選考対象

- ・平成27年度末までに事前協議が完了したものは「28件」（その他、1件仮設建築物（既撤去）、1件取りやめあり）」、そのうち完了報告が提出されたものは「8件」でした。
- ・このうち、エコまち建築賞選考対象の条件※を満たす物件は「6件」でした。  
※ラベリングの結果、低炭素・景観いずれも★3つ以上獲得 かつ ②低炭素・景観どちらかで★4つ以上獲得
- ・事業者からのエントリーがあった自薦物件は「3件」でしたが、残りの「3件」も地区の低炭素化や景観形成に大いに寄与されているため、市からの推薦として候補に加え、計「6件」を対象として選考を行いました。

## 2. 選考経過

- ・平成28年11月8日（火）10時～12時に、川西市役所 地下1階 B01 会議室において選考会を開催しました。
- ・現地視察の後、実施要領に基づく形で、5名の選考メンバーが採点を行い、それらの点数を合計、対象物件毎に総合点を算出しました。
- ・協議の結果、総合点の上位「3件」をエコまち建築賞受賞物件として選考しました。

## 3. 選考結果

エコまち建築賞受賞物件 3件

### （1）キセラ川西オリヴィエ

用途：共同住宅（店舗付）

建築主：京阪電鉄不動産株式会社、東レ建設株式会社

設計者：株式会社長谷工コーポレーション

施工者：株式会社長谷工コーポレーション

### （2）キセラコート WAKO

用途：共同住宅（ワンルーム）

建築主：株式会社和弘

設計者：信和建設株式会社一級建築士事務所

施工者：信和建設株式会社

### （3）大和化学株式会社

用途：事務所兼住宅

建築主：大和化学株式会社

設計者：大和ハウス工業株式会社

施工者：大和ハウス工業株式会社

## 4. 講評

### (1) キセラ川西オリヴィエ

本建築は、キセラ川西低炭素まちづくり計画や同運用基準に基づき、全国初の集約都市開発事業の認定や、CASBEEのSランクの取得、30%以上の間口緑視率の確保など、低炭素、緑・景観の両面で積極的・意欲的に取り組まれ、独自性、モデル性にも優れた物件として、最も高い評価を得ました。

キセラ川西のめざすまちづくりをリードし、周辺の建築への波及効果も大いに期待できる、エコまち建築賞に相応しい物件として評価されました。

### (2) キセラコート WAKO

本建築は、ワンルームの賃貸マンションですが、キセラ川西低炭素まちづくり計画の趣旨を理解し、同運用基準の要求に意欲的に応えられ、太陽光発電施設の設置や、20%以上の間口緑視率の確保、「キセラ」の名称の使用などに取り組みられました。

ともすれば最低限の仕様に留まりがちな賃貸マンションでありながら、非常に積極的な取り組みをされたことから、本建物はこれから建築される物件にとっても模範となる、エコまち建築賞に相応しい物件として評価されました。

### (3) 大和化学株式会社

本建築は、事務所兼住宅ですが、キセラ川西低炭素まちづくり計画の内容に賛同頂き、建築の際の事前協議においては様々な取り組みを提案され、長期優良住宅の取得、屋根材と一体となった太陽光発電施設の設置などを実現されました。

本建物で実現された数々の取り組みは、これから建築される戸建て住宅にとって模範となり得るものであり、エコまち建築賞に相応しい物件として評価されました。

今回惜しくも受賞しなかった3件、シルバー人材センター、日の丸ハイヤー能勢口営業所、H邸についても、運用基準に基づき一定水準以上の取り組みがなされたことは評価すべきとの声が挙げられました。これらの建物は、エネルギー削減・植栽の維持管理の取り組みや隣接敷地での連続的な景観形成など、今後の取り組みに期待されるところも大きく、次回以降の建築賞選考でも再度選考対象物件として取り上げていくべきとの意見で一致しました。

今回の受賞物件を端緒としながら、今後建築される物件も多数エコまち建築賞を受賞し、キセラ川西が低炭素・景観で先導する素晴らしいまちとなっていくことを期待します。

### キセラ川西 エコまち建築賞 選考メンバー

学識経験者 (3名)	関西学院大学 名誉教授	加藤 晃規
	大阪大学大学院 工学研究科 教授	山中 俊夫
	愛媛大学大学院 理工学研究科 教授	松村 暢彦
地権者 (1名)	中央北地区まちづくり協議会 副会長	安田 萬作
行政 (1名)	川西市キセラ川西整備部 部長	酒本 恭聖